益田市の社協だより

はぁ～てぃ

vol.209

1月1日号
2013

「はぁーてぃ」は英語で“心の温かい”、“真心のこもった”という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

迎春

あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、市民の皆様から社会福祉協議会の事業に対しまして、深いご理解とご協力を賜りましたこと厚くお礼申し上げます。

現在、益田市社会福祉協議会では、益田市と一体となって『益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画』の策定を進めています。第二期目を迎えたこの計画は、これまでの成果と課題を総括し、新たな生活課題や福祉課題に対応した、地域福祉活動推進の基本となります。

今後も、行政、市社協、地域、各関係機関が協力し、お互いに連携をとりながら計画を推進し、『誰もが安心して暮らせる地域社会』の実現のため、役職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き皆様からの温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会長　齋藤　眸（高津五丁目）
副会長　石本　建二（東町）
常務理事　福原　正巳（下本郷町）
理事　石田　敏治（久々茂町）
〃　岩本のりこ（あけぼの本町）
〃　大久保　稔（下本郷町）
〃　笹川　清（高津四丁目）
〃　澤江　久介（美都町山本）
〃　竹田　和夫（匹見町道川）
〃　田中　敦（木部町）
〃　中島　教祐（駅前町）
〃　中島　正紀（喜阿弥町）
〃　永本　鶴枝（須子町）
〃　原　伸二（久城町）
〃　山崎　善行（美都町笹倉）
〃　山本　尚（中吉田町）
〃　渡辺　隆（匹見町紙祖）
監事　吉川　富男（水分町）
〃　竹内　優機（あけぼの西町）
〃　本井　宗明（高津四丁目）
顧問　田中　稔（乙吉町）
評議員・職員一同（五十音順、敬称略）

発行：社会福祉法人 益田市社会福祉協議会
編集：益田市社会福祉協議会広報運営委員会

〒698-0036 益田市須子町3-1
TEL：0856-22-7256 FAX：0856-23-4177
社協e-mail：masuda_h@masuda-shakyou.or.jp
社協ホームページ　http://masuda-shakyou.or.jp/

この広報紙には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

福祉のまちづくりに向け 参画と協力を

益田市長　山本　浩章

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、平成二十五年の新春を健やかにお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

益田市社会福祉協議会におかれましては、福祉活動における中核組織として、「人とのつながり」「地域とのつながり」を深めていくため、多くの団体の参加と協働のもとに、地区社会福祉協議会活動、ボランティア活動、福祉教育、高齢者・子育てサロン活動など、地域福祉活動を展開されていることに対しまして、心より敬意と感謝を申し上げます。

現在、益田市では、社会福祉協議会との協働事業として、「地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定する作業を進めています。高齢者や障がい者、子どもといった分野の枠を超えて、地域における課題解決のため、地域住民、行政、社会福祉協議会、事業者、ボランティアなどが一体となり、ともに支えあい、助け合う福祉のまちづくりを目指しています。

安心して暮らせるよう地域福祉を充実させていくためには、市民の皆様の積極的な参画と協力が欠かせません。市の財政は極めて厳しい状況にありますが、皆様の温かいご支援をいただき、福祉関係機関との一層の連携を図り、各種福祉施策を展開してまいる所存であります。

最後に、この一年が市民の皆様にとりまして幸多き年となりますよう、心よりご祈念申し上げまして年頭のごあいさつといたします。

平成24年度 しまね県民福祉大会受賞者

しまね県民福祉大会が、昨秋10月27日㈯くにびきメッセで行われ、社会福祉に功績のあった方への表彰が行われました。

おめでとうございます。皆様の益々のご活躍をお祈りいたします。

（益田市関係者、順不同、敬称略）

【県知事感謝状】

ボランティア活動功労

益田ライオンズクラブ
益田あけぼのライオンズクラブ
安田婦人会
益田市立図書館おはなし会
ボランティア もこもこもこの会
つつじ会

【県社会福祉協議会会長表彰】

民生委員児童委員功労

岡﨑ヒロ子（飯浦町）

社会福祉施設、社協・団体等役職員功労

本井　宗明（益田市社協監事　高津四丁目）

【県社会福祉協議会会長感謝】

社会福祉事業協助者

ボランティア美濃

【県老人クラブ連合会会長表彰】

一般功労

大谷　静也（匹見町道川）

【県身体障害者団体連合会表彰】

一般功労

豊田　優（黒周町）
野村　長典（木部町）

【県知的障害者施設保護者会連合会会長表彰】

感謝

栗栖　將喜（元県知的障害者施設保護者会連合会副会長　久城町）

共同募金・歳末たすけあい募金のお礼

益田市共同募金委員会

今年度も、共同募金並びに歳末たすけあい募金に、市民の皆様をはじめ、学校、企業団体、助成受益団体等から、心温まる募金が寄せられました。

また、歳末たすけあいバザーにおいても、多くの物品を提供いただき厚くお礼申し上げます。

皆様からお寄せいただいた寄付金は、福祉団体の活動助成や住み良いまちづくりのために有効に活用させていただきます。

なお、歳末たすけあい募金の寄付金は、見舞金として贈らせていただきました。

ご協力、誠にありがとうございました。

くにびき学園(西部校)新入生募集

高齢者の学びと交流の場

2年間の学園生活で生きがい・仲間づくりと地域活動参加のための知識習得をしてみませんか

○**出願対象**　島根県内在住の平成25年4月1日現在で60歳以上の方（満60歳以上の方が定員に満たない場合は、満58歳以上も対象）
地域活動に関心があり、卒業後に参加する意欲のある方

○**会　場**　いわみーる（浜田市）
※東部校（松江市）でも募集中です

○**授業料等**　入学金1万円　授業料年額1万8千円
その他資料代・教材費別途

○**修学期間**　2年間（4月から平成27年3月まで）
※年間の登校日数は40日程度

○**内　容**　総合講座及び専門講座（社会文化・園芸・陶芸・健康福祉の4科から選択）

○**募集要項・願書**　益田市社会福祉協議会または左記の学園事務局で配布します

○**受付期限**　平成25年2月28日(木)まで

○**事務局**　くにびき学園西部校
〒697-0016
浜田市野原町一八二六―一
TEL 0855-24-9336

☆**一般公開授業**☆
総合講座と専門講座の一般公開授業を開催します。授業科目や日時、参加方法はホームページをご覧ください。

★**学園祭のご案内**★
平成25年2月9日(土)に、いわみーるで開催します。作品展示・アトラクション・園芸・陶芸作品販売、お茶席などがあります。ぜひご来場いただき学園の雰囲気を感じてください！

夢ファクトリー事業活動紹介

島根県社会福祉協議会では、中高年齢者が培ってきた知識や経験、技術等を活かして、生産活動を行うことにより、活力ある地域づくりを推進することを目的とした「夢ファクトリー事業」を推進しています。
市内で助成を受け、活動している団体を紹介します。

味噌造りで地区に元気を

グループまめ・こめ（真砂地区）

私たちは水稲生産農家ですが、数年前の減反政策により大豆を作り始めたころから、グループまめ・こめとして、味噌造りを始めました。まず、味噌造りに欠かせないこうじ造りを地区の古老から教わることから始め、最初の２、３年は手探りの状態が続きました。自分たちの栽培した米と大豆から造る味噌は、大変おいしく、“手前味噌”と言われることわざの意味も良くわかりました。

隣近所に食べてもらったところ、「すごくおいしい」と喜ばれ、真砂地区の収穫祭でも、「味噌は売ってないの？」と聞かれるまでに口コミで広まりました。そこで、島根県社会福祉協議会の「夢ファクトリー事業」の支援を受け、本格的に味噌と惣菜の加工所を設立することにしました。

早春の肌寒い頃、稲の苗作りから米の栽培が始まり、田植が終わると、季節は汗ばむ６月を迎えます。また梅雨まえには大豆の播種をします。汗びっしょりになって草取りを終えると、米も大豆もとても喜んでいるように見えます。このように愛しんで育て、収穫した米と大豆を使うのですから、寒い冬の味噌加工作業も、楽しんで取り組んでいます。

昔から「真砂の米はおいしい」と言われていますが、大豆生産者が真砂地区内にも増えて、真砂でしか出来ない味噌加工が出来ればと考えています。また、野菜はお漬物に、味噌もおかず味噌に、おいしい真砂米はおむすびに加工できるよう惣菜加工所も併設しました。

高齢化とか限界集落とか、真砂地区もさみしい状態の中、私たち“グループまめ・こめ”は真砂地区が元気になれるようお米、大豆の栽培、加工に精（勢い）を出して、さらに販売にまで拡げ、奮闘したいと思っております。

一緒に活動しませんか!!

美都町はつらつ介護者の会

美都町はつらつ介護者の会は、美都地域にお住まいで、現在ご自宅等において介護をされている方、介護に関心のある方が集まり学習・交流を行うことで、介護不安・介護疲れのリフレッシュ等につなげることを目的として活動しています。

平成24年11月27日㈫に開催したふれあい交流会では、益田市社会福祉協議会の『福祉出前講座』を活用して、小規模多機能サービスの概要・特徴について事前学習をしました。

その後、益田市内にある小規模多機能施設の内、美都町仙道の『あんず』と本町の『すみよし』を訪問し、施設の見学や状況・実情などについてお伺いしました。参加者は小規模多機能という介護サービスについて、興味と関心がとても高く、熱心に話を聞いたり質問したりして理解を深めました。

昼食・休憩の場でも会員同志の交流が盛んに行われ、各自の介護の状況や、悩み・不安について話をし、情報交換をしました。

美都町はつらつ介護者の会では、このような交流会などを開催しており、少しでも介護をされている方々の不安解消につながるよう活動を続けています。美都地域在住で現在介護をされている方、また介護に関心のある方はどなたでも入会できますので、ぜひとも左記までご連絡ください。

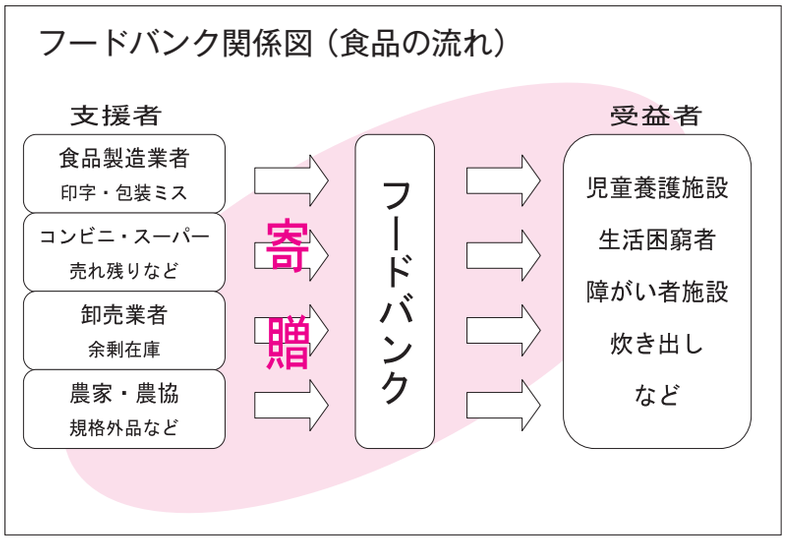
美都町はつらつ介護者の会事務局
（益田市社協美都支所内）
TEL 0856-52-2392
担当：山鳥・齋藤

『フードバンク』をご存知ですか?

日本では毎年、約2000万トンもの食糧が廃棄されています。その中で、まだ食べられるのにも関わらず様々な理由で廃棄される、いわゆる食品ロス（フードロス）は**年間500～800万トン！**　これはコメの年間生産量と同じぐらい膨大な量です。

食品ロスが発生する理由としては、箱や缶が潰れた包装状況の問題や過剰生産、規格外商品、季節限定・催事での売れ残りなどがあります。また、スーパーなどで〝3分の1ルール〟賞味期限が残りの3分の1以下になると、その商品は販売できなくなるといったこともあります。

フードバンクは、そうした食料品を譲り受け、生活困窮者や福祉施設などに無償提供して、有効に使ってもらう仕組みです。供給側も廃棄コストの削減や企業イメージの向上などメリットがあり、注目されています。現在日本では、約30の団体がフードバンクを立ちあげてその地域にあったやり方で活動中です。



島根県では、島根県社協が昨年6月から試行的にフードバンクを立ち上げました。東京のNPO法人から缶詰やレトルト食品などの受入れ、近くのコンビニの協力を得て、必要時に賞味期限間近の食品などを受け取る仕組みを構築し、生活困窮者や福祉施設に提供しています。

食品ロス削減だけに留まらず、もったいない食品が多くの人を助けることにつながり、貧困問題や環境面において、大きなメリットがあるフードバンク活動を知って下さい。

社協特別会員へのお礼

社協の特別会員として、次の企業・団体のご賛同をいただきました。大変ありがとうございました。

（11月30日現在　順不同・敬称略）

㈱高津自動車修理工場
㈲椋木商会
益田マルヰ㈱
高橋建設㈱
徳栄建設㈱
日出来屋酒店
深山の郷加工グループ
㈲中田自動車整備センター
新光プロパン瓦斯㈱匹見販売所
匹見峡温泉やすらぎの湯
中村医院
桧谷商店
ウッドペッカー木工組合
㈲柴田電業
斎藤建設㈲
㈲源拓工業
㈱萩の会
森本商店

善意の輪

（平成24年10月1日～平成24年11月30日）

敬称略

【香典返し】

福原　久夫（中須町）　金一封
宮内　益子（遠田町）　金一封
(故)芝田　央（土田町）　金一封
佐々木栄見（木部町）　金一封
齋藤　武夫（元町）　金一封
(故)利光　文子（須子町）　金一封
(故)村上　愛子（隅村町）　金一封
(故)竹橋　鶴矣（中島町）　金一封
原田　菊枝（栄町）　金一封
(故)田根登美江（下種町）　金一封
永瀬　弘（高津一丁目）　金一封
永岡　幸枝（山折町）　金一封
佐田　和子（横田町）　金一封
吉村　俊二（兵庫県加古川市）　金一封
福原　恭子（赤城町）　十万円
野稲　定章（桂平町）　五万円
石川　信夫（下波田町）　金一封
篠原　保美（白岩町）　金一封
野村ミチコ（遠田町）　金一封
(故)澄川　京子（西平原町）　金一封
(故)長谷　千代（美都町都茂）　金一封
真庭　健太（向横田町）　金一封
原田　正志（遠田町）　金一封
(故)細谷　忠男（東町）　金一封
平川　浦政（中吉田町）　金一封
大賀　功（市原町）　金一封
松田　悦子（中吉田町）　金一封
(故)梅地　和美（東町）　金一封
平井　利弘（須子町）　金一封
田中　頼昭（西平原町）　金一封
河野　悟（東町）　五万円
(故)大島　清嗣（高津町）　金一封
遠藤　成（熊本県熊本市）　金一封
平野美智子（高津二丁目）　金一封
(故)岡　政夫（美都町仙道）　金一封
(故)齋藤　勇治（美都町板井川）　金一封
山崎丈太郎（匹見町紙祖）　五万円
田村　文美（内田町）　五万円
齋藤　貢（匹見町紙祖）　金一封
大谷　隆敏（匹見町道川）　金一封
(故)廣田ヱミ子（匹見町澄川）　金一封
(故)河野　甚一（中垣内町）　金一封

【見舞返し】

(故)多田　昭三（昭和町）　金一封
齋藤　貢（匹見町紙祖）　金一封
藤井　三子（匹見町広瀬）　金一封

【一般寄付】

桐田　義夫（水分町）　金一封
匿　名　千円

皆様から寄せられました善意の寄付金は、ご意志に沿って、地域福祉活動事業費や福祉基金積立の原資として大切に活用させていただきます。

誠にありがとうございました。

ふれあい福祉相談所のご案内

1月・2月の相談日

場所：益田市総合福祉センター

	無料法律相談　13:00～15:00（要予約）担当弁護士		ふれあい福祉相談 10:00～15:00	老人母子相談 10:00～15:00
1月	11日㈮	益田ひまわり基金法律事務所（真鍋弁護士）	11日㈮	11日㈮・25日㈮
2月	8日㈮	石西ひまわり基金法律事務所（児玉弁護士）	8日㈮	8日㈮・22日㈮

上記相談日以外でも専任相談員がお受けします。
「こんなこと話していいかな？」「今はいいけど、もし何かあった時はどうなるの？」
「身近に話す人がいないから聞いてみようか。」
どんなことでもかまいません。出かけることのできない方はお電話でもお受け致しますので、お気軽にご相談ください。

ふれあい福祉相談所
（益田市社会福祉協議会内）
（月～金　8：30～17：30）
TEL　２２－７２５６

『子ども達に夢を！たくましく豊かな創造性を！』

～おやこ劇場設立理念～

「益田おやこ劇場」を知っていますか。子ども達に演劇・音楽・芸能などの生の舞台に触れてもらうために、全国からプロの劇団を招いて活動を続け41年になる市民団体です。

第167回例会は日本でも数少ない馬頭琴奏者岡林立哉さんのコンサートを開催し、参加者や会場となった益田幼稚園の園児達は、モンゴルのお話とともに馬頭琴の音色を楽しみました。馬のしっぽの毛の弦をもつその音色はなぜかなつかしく、日本人の心にも響くものでした。またモンゴルの遊牧民に伝わるホーミー（一度に二つ以上の音が聞こえる歌唱法）の声には、会場から驚きの声がもれました。

メディアがもたらす子どもへの弊害が問題となる中、生の舞台は子ども達の感性を磨き感じる心を育てるといわれます。あなたも、子ども達の心を育むおやこ劇場の活動に参加しませんか。親子で、こどもだけで、大人だけでも入会ＯＫです。会を応援してくれる応援会員も募集中です。

（問合せ先） 益田おやこ劇場
益田市須子町3-1
益田市総合福祉センター内
090-8244-2208

『骨がなくなる病気　えっ!?　歯科なのに』

匹見地域福祉委員会は、12月2日㈰、特別養護老人ホームもみじの里交流ホールで講演会を開催し70名の参加がありました。

本年度より匹見歯科診療所を引き継がれた澄川裕之先生を講師に迎え、「骨がなくなる病気　えっ!?　歯科なのに」という興味をそそる演題でユーモアを交えながら、わかりやすくお話ししていただきました。

歯周病は、沈黙の病気で受診する人は少なく、自覚症状がない怖い病気で、受診したときには重症となっている場合が多いとのことでした。歯周病は、歯の周囲の骨がなくなる病気、定期的なクリーニングが大切。全身疾患に悪影響を及ぼし、糖尿病がある方は健康な方の約2．6倍で歯周病になる可能性があるといったお話で、あっという間の1時間半でした。歯の健康は身体の健康寿命につながります。福祉委員会から参加者全員に、歯ブラシを進呈し、大変喜ばれました。

また当日は、歳末たすけあいバザーも行いました。町民からたくさんの物品が寄せられ、品々を前に「あれも、これも」と悩みながら多数購入されていました。

なお、この収益は益田市共同募金委員会匹見分室を通じ、匹見町内の80歳以上独居高齢者世帯へ助成されました。